

第2回釜南学校運営協議会記録

平成28年8月26日（金） 14:00～15:45

司会 内海副校長（全体） 五味（①部会） 宮寄（②③部会）

記録 勝部（①部会） 木村理沙（②③部会）

参加者 27名

運営協議委員10名（3名欠席）

職員 17名

場所 釜利谷南小学校 第1音楽室

1 開会のことば（副校長）

2 学校長挨拶（鈴木校長）

「月曜日から学校が始まります。元気な声に戻ってきます。早くリズムを戻して、楽しく過ごせるように。ゆめ、希望、目標に向かって頑張ってください。」

3 学校運営協議会会長挨拶（瀧澤会長）

「暑い日が続いています。台風も心配です。東松山の事件など、親も先生も知らない子どもの世界を心配しています。日々の心構えが大切です。よろしくお願いします。」

4 自己紹介（全員）

5 協議（全体）

①釜南スポーツフェスタに関するアンケート（日野）

②ウルムスサポーター（副校長）

この会で発案した、投てき板のペンキ塗りについて思ったより、作業工程が難しく、資格をお持ちの方が必要なようです。

ご意見があればお願いします。

・30周年と絡めるのはどうだろうか？

キャラクターやシンボルマークは子ども達から図案を募集したい。

・ジャングルジムを塗るのはどうか？

アレルギーの後追い調査もあるので、子ども達が直接触るものは難しい。

6 協議（部会ごと）

①学ぶ力を育む委員会

重点研究について	(日野)	資料P 1
スペシャルティーチャー	(各学年)	P 2～3
P T A 港南サポートチーム		P 4～5
英語活動	(真田)	P 6～7
あゆみの見方について	(石田)	P 8
特活	(日野)	P 9～1 2
小中一貫ブロック	(勝部)	P 1 3～1 4
幼保小	(土井)	P 1 5～1 6

質疑応答

- 授業の中でテーマはどうやって決めるのか。
 - ・授業の中で目的意識をもって取り組めるようにしている。
 - ・重点研は主体的に学んでいくことや、コミュニケーション能力、言葉で伝えること等に取り組んでいる。
 - ・よい取組をしている。社会に出ても同じようなことをしている。キャリア教育にもつながっている。
- スペシャルティーチャーの昔遊びは、沢木谷クラブのお世話になっている。学校へいらっしゃるのは年間1回だが、もっと交流したいと言ってくさっている。
 - ・2年生はスポーツフェスタの鈴割で、沢木谷クラブに招待状を差し上げている。
 - ・4年生は保護者に消防士さんがいて、学習に力を貸していただいた。
 - ・以前P T Aでも保護者の特技を書いてもらいリストを作ったことがあるが活用されなかった。
 - ・学校が何を望んでいるのかを知りたい。
 - ・「こういう形の学習をしたいので、こういう力を借りたい」というように、募集の仕方を工夫し、学校が発信していく方がよい。
 - ・区役所の地域振興課の力も借りるとよい。
 - ・いろいろな形で情報を集めていくことが大切。
- 保護者の方から、いろいろな形でサポートを受けている。
 - ・他に白衣の点検など、今希望を伝えて話合い中です。
- 英語活動は、異文化交流、コミュニケーション能力を育てている。
 - ・子ども達の反応は・
 - ・ゲームが多いので子ども達同士の関わりを楽しんでいる。
 - ・動じない。

- ・中学生も積み重ねて、聞く・話す力はついてきている。
- ・中学校では、受験に向けた取組に関わる部分が難しい。

○あゆみの見方

- ・前後期ではなく、可能ならば長期休みの前に成績がほしい。
- ・あゆみは見やすくなった。
- ・個人的には行政から降ろされたものに疑問をもつのは大切である。
チームとして取り組むことも大切。

7 各部会からの報告

8 事務連絡

9 閉会の言葉 (副校長) (相沢様のお話)